

令和8年1月29日

都内私立中学高等学校

校長
社会科教諭殿
関係教職員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会
会長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 平方 邦行
文系教科研究会委員長 畠澤 正一
(共催: 公益財団法人東京都私学財団)

文系教科研究会(社会・地理歴史)「歴史分野研修会」のご案内

～ 史資料から読み解く満蒙開拓と引揚げ ～



寒冷の候、先生方におかれましてはますます健勝のこととお慶び申し上げます。

高等学校「歴史総合」では、グローバル化の進展を背景に、人びとの移動を含む国境を越えた流動性を捉え、現代的課題がいかに形成されてきたのかを歴史的に考察する視点が重視されています。本講演では、この「人の移動」を軸に、日本史探究へ接続し得る題材として満蒙開拓団を取り上げます。近年の研究では、国策移民を「国家」や「個人」に還元するのではなく、送り出し地域（行政村）や家族・村落の諸関係に即して捉え直し、送出・入植・現地住民との関係、さらには敗戦後の引揚げと生活再建に至るまでを一連の過程として検討する動向が進んでいます。

こうした最新の研究動向を踏まえつつ、具体的な史資料を手がかりに、それらを授業実践の中でいかに位置づけ、活用し得るのかについて、講演を踏まえて共に考えていきましょう。

校務ご多忙の折とは存じますが、お誘い合わせの上、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

記

1. 日 時 令和8年2月27日(金) 18:00~20:00 (受付開始 17:30~)

2. 会 場 アルカディア市ヶ谷 (私学会館) 会議室 千代田区九段北4-2-25

3. 内 容 基調講演 「史資料から読み解く満蒙開拓と引揚げ」
ワークショップ 史資料をもとにした授業実践の検討／共有

4. 講 師 立命館大学 経済学部経済学科 教授 細谷 亨 先生

【プロフィール】

立命館大学 経済学研究科／経済学部 教授。専門は日本経済史。[研究テーマ] 近現代日本における地域経済社会と人の移動、戦時期の旧満州国への日本人農業移民（満蒙開拓）等。元立命館大学国際平和ミュージアム副館長。2020年度大学入試センター新教育課程試験問題調査研究特別部会委員（「歴史総合」分科会）。著作に『日本帝国の膨張・崩壊と満蒙開拓団』（有志舎、2019年）がある。



5. 定員 40名 申し込み順⇒定員になり次第締め切ります

6. 参加費 無料 (当協会会員各校の拠出金と(公財)東京都私学財団からの補助金で運営しております)

7. 申込方法 2月24日(火)までに研究所HPからお申込みください。

URL <https://k.tokyoshigaku.com>



8. 委員名(支部・学校名)

委員長 畑澤 正一 (⑦大森学園)

委員 柴田 洋平 (⑤サレジアン国際学園) 続木 敏之 (⑧駒場東邦)

鈴木 直紀 (⑨文化学園大学杉並) 佐藤 竜之 (⑪啓明学園)

矢口 陽一 (⑫東京電機大学)

東京私学教育研究所 文系教科研究会(社会・地理歴史)

担当: 岡沢・松田

TEL 03-3263-0544

《案内図》



■交通のご案内



地下鉄 有楽町線・南北線
市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口



地下鉄 新宿線
市ヶ谷駅 (A4またはA1) 出口



JR中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅
上記改札・出口から徒歩約2分

天候の悪化や各種災害、それに伴う公共交通機関の対応などにより、実施方法(オンライン研修を含む)プログラムの変更や中止(延期)となる場合があります。その際にはweb申込時にご入力いただいたメールアドレスへ迅速にご案内させていただきます。